

2021年3月13日

2021年度 事業計画書  
(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

公益財団法人 天田財団  
理事長 末岡 慎弘

## I. 財団運営の概要

近年、研究資金・研究環境・研究人材など、我が国の研究力・技術力向上を支える基盤そのものの脆弱化が強く指摘され、それにより基礎的研究から得られる知見を時代と融合させ、新たな価値を創造する日本発のイノベーションが激減しているのは周知のごとくである。天田財団は金属等の加工に係る研究開発や国際交流、ならびに技能者育成への助成を通じて、我が国の産業及び経済の健全な発展に寄与することを目的に、常に時代の要請に応じた真に有益な公益事業を推進する。

## II. 事業の内容

1. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に必要な技術の調査・研究に対する助成として、総助成件数75件、総助成金額2億2,300万円を計画する。以下にその内訳を示す。

### (1) 重点研究開発助成

財団が提示した複数の課題をもとに、研究者が独自に研究テーマを設定した研究に対する助成として、助成件数6件、助成金額6,000万円を計画する。

### (2) 一般研究助成

研究者が自ら現在進行している研究に対する助成として、助成件数50件、助成金額1億2,500万円を計画する。

### (3) 奨励研究助成

若手研究者の育成を目的に自らがテーマとした研究に対する助成として、助成件数19件、助成金額3,800万円を計画する。

2. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に必要な技術に関する国際交流の促進及びその助成として、総助成件数22件、総助成金額1,300万円を計画している。以下にその内訳を示す。

### (1) 国際会議等準備・開催に係る助成

国内で開催される権威ある国際会議や国際的な研究集会等の準備・開催に対する助成として、助成件数4件、助成金額400万円を計画する。

- (2) 第1回国際会議等準備・開催に係る助成  
海外にて実績がある国際会議で、国内で初めて開催される権威ある国際会議や国際的な研究集会等の準備・開催に対する助成として、助成件数1件、助成金額150万円を計画する。
- (3) 国際会議等への参加に係る助成（単独参加）  
海外で開催される権威ある国際会議や国際的な研究集会等への参加に対する助成として、助成件数8件、助成金額280万円を計画する。
- (4) 国際会議等への参加に係る助成（院生等同行参加）  
海外で開催される権威ある国際会議や国際的な研究集会等へ関係する院生等を同行して参加する助成として、助成件数4件、助成金額280万円を計画する。
- (5) 国際会議等への参加に係る助成（若手限定）  
若手研究者が海外で開催される権威ある国際会議や国際的な研究集会等への参加に対する助成として、助成件数4件、助成金額140万円を計画する。
- (6) 国際シンポジウム準備・開催に係る助成  
若手研究者自らが中心（主催者）となり、3か国以上の研究者を招聘して開催するシンポジウム等の準備・開催に対する助成として、助成件数1件、助成金額50万円を計画する。

### 3. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に関する助成した研究や国際交流の成果の普及啓発事業として、以下を計画する。

- (1) 助成成果報告書の発刊及び配布事業  
研究開発助成事業、及び国際交流促進事業によって報告された成果を年度ごとに「天田財団助成研究成果報告書」として、1987年から2020年度までの研究成果報告書を記録した、キーワード検索機能付きのDVDを付属して発刊し、国内研究機関並びに産業界等に配布して普及啓発を行なう。本年度は配布部数1,500部を計画している。
- (2) 機関誌（Form Tech Review）の発刊及び配布事業  
毎年度特集テーマを設定し、過去の成果報告の中から特集テーマに相応しく、かつ技術の向上と発展に効果が大きいと判断される研究を選考して、その研究者にその後の研究の進展を加え改めて執筆された論文を、機関誌「Form Tech Review」として刊行する。令和2年度はコロナ禍で配布計画の一部が実行できなかったため、令和3年度に渡って実施する。本年度は配布部数500部を計画している。

(3) 財団ニュースの発刊、配布事業

財団の公益事業活動を広く紹介する「天田財団ニュース」を年2回発刊し、研究成果発表会や公共展等で配布、普及啓発を行なう。本年度は総配布部数で3,000部を計画している。

(4) 助成研究成果発表会の開催事業

令和2年度はコロナ禍で計画していた「助成研究成果発表会」は全て中止となった。令和3年度は、中止となった「助成研究成果発表会」の内容をほぼそのまま以下のように実施する。

① 第4回レーザプロセッシング助成研究成果発表会

日時：2021年6月30日

場所：パシフィコ横浜（OPIE'21の公式イベントとして併設開催）

参加：150名程度

② 第18回塑性加工助成研究成果発表会（Web発表会）

日時：2021年10月29～30日

場所：塑性加工連合講演会（WEB講演会）に共催開催を要請中

参加：100名程度（オンライン参加）

(5) 令和3年度天田財団助成式典の開催

令和3年度助成者に対する「助成金目録贈呈式」及び助成研究報告された研究者による「招待講演会」からなる助成式典を実施する。

日時：2021年11月27日

場所：未定

(6) 公共展への参画事業

助成研究成果の産業界への普及啓発を目的として、対象領域に適した以下の公共展に参画する。

① OPIE'21

日時：2021年6月30日～7月2日

場所：パシフィコ横浜

② Photonix 2021

日時：2021年12月8日～10日

場所：幕張メッセ

③ Laser Solution 2022

日時：2022年1月12日～14日

場所：神戸国際会議場（レーザー学会学術講演会年次大会併設）

4. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に従事する者の技能と地位の向上を目的とした資格の取得に対する助成として、総助成件数500件、総助成金額1,500万円を計画している。

本年度は、職業能力開発促進法施行令で指定され、都道府県職業能力開発協会が実施する技能検定の職種である「工場板金」技能検定に係る「受検手数料」の受検者本人の負担軽減を目的とした助成を行う。

(1) 前期技能検定 (助成件数200件 助成金600万円)

① 曲げ板金作業 (1・2・3級)

② 打出し板金作業 (1・2・3級)

(2) 後期技能検定 (助成件数300件 助成金900万円)

① 工場板金 (特級)

② 機械板金作業 (1・2級)

③ 数値制御ロボット用板金作業 (1・2級)

5. 40周年記念事業の検討

当財団は1987年に創立され、2027年に創立40周年の節目を迎える。40周年記念事業としての公益事業について検討を開始する。

以上